



豊築森林組合

2008 No.4

木 木 木 [もり] 木 木 木 だより

発行/豊築森林組合
企画・編集/広報委員





木材の使用についで



木材は住宅建築用資材だけではなく、様々な用途で使われています。今回、豊築森林組合の小径木加工場で作られている土木資材の使用例をいくつか紹介します。

地球が温暖化すると...



現在、地球の温暖化が問題となっています。このまま効果的な対策を実行しないと、2100年までに地球の平均気温は2℃上昇するといわれています。そうすると、どのような問題が起きるのか

- 1 南極等の氷山が溶けて、海面が50cm～最大1mも上昇。土地が失われ、洪水被害や高潮被害が増加する。
- 2 降雨量の格差が大きくなるという気象の極端な変化により、地域的な、水害や浸水が起きる。
- 3 動、植物の絶滅などにより、自然生態系の変化、農業への悪影響、森林の損壊などが起きる。
- 4 心臓病や呼吸器系の病気の増加。マラリア、コレラなど、熱帯性の伝染病がまん延する。

これらの問題について自分達にとって何ができるのかを考え、実行しましょう



今後の出店予定

●11月23日
大平楽柿・ゆず祭
森の恵み工房にて展示販売

●11月30日
合河ゆず祭り(豊前市)

●12月上旬
築城商工祭(築上町)



10/19 上毛祭り 木工品展示販売の様子



イベント出店のお知らせ

森林組合では木の良さをPRするため各地域のイベントに参加し、木工品の販売を行っています。

トレー価格の変更について



- トレー(小) 10枚入り 200円
- トレー(大) 10枚入り 250円

『施業集約化・供給情報集積事業』について

平成19年度から取組を行っている施業集約化事業について、平成20年度も半分を過ぎましたので、9月末現在の進捗状況についてお知らせします。下の表が現在の進捗状況です。

『施業集約化・供給情報集積事業』とは？

森林組合にて10ヘクタールから30ヘクタールの山林を1つの施業集約化団地としてとりまとめ、搬出間伐などの事業をとりまとめで行うことで、コストの削減や効率的な作業路開設などを行う事業のことです。

『進捗状況について』

各地区の担当者が主になって提案会を開催しています。現在のところ提案会を開催した地区では皆様から事業へのご理解を頂くことができ、現在、森林組合では施業集約団地の山林調査・プランの作成を行っています。また調査が完了し搬出間伐が可能です。また山林の作業も速やかに進んでいます。

提案会は各地区にて予定しています。提案会の開催要望などありましたら森林組合へお気軽にご相談下さい。



地区	提案会開催回数 (場所)	所有者との 委託契約面積	間伐実行面積
豊前地区	3会場 (岩屋枝川内・川内櫛狩屋、求菩提)	30%	12%
上毛地区	2会場 (東下内ノ倉、東上岩屋)	20%	6%
椎田地区	2会場 (真如寺長谷、真如寺黒平)	20%	4%
築城地区	2会場 (寒田焼岩、本庄小川内)	30%	10%
合計	9会場	100%	32%

施業集約化・供給情報集積事業の進捗状況

森林環境税の取り組み



福岡県の森林面積約22万3千ヘクタール。その約3分の2を人工林が占めています。この人工林を健全な森林に育てるためには、人の手で定期的な手入れを行う必要があります。しかし、林業の低迷から長期間手入れがされていない荒廃した森林が増えています。

このまま放置すると森林の公益的機能が低下し、洪水や濁水、土砂災害が発生する可能性が高まるなど、私たちの安全・安心な生活に大きな影響を及ぼす恐れがあります。

このため、平成18年12月「福岡県森林環境税条例」が制定され、平成20年度から森林環境税により「荒廃した森林の再生」と「県民参加の森林(もり)づくり」の事業に取り組みます。

当組合では、今年度より実施する予定です。しかしながら、環境税事業で行う間伐は搬出して木材を販売することが出来ません。よって当組合では、搬出間伐のできる森林については、環境税事業で実施するより補助事業で実施した方が所有者に木材代金を還元できるので環境税事業での実施は考えていません。



豊前市の山林です。左の写真のとおり下層植生がほとんどなく土砂等の流出の可能性があり林内も非常に暗くなっています。このような森林が森林環境税事業の対象となります。



豊前市の山林です。右の写真のとおり下層植生が生い茂っています。このような森林は健全な森林であり森林環境税事業の対象外となります。



今回は、木材の市況及び丸太1本当たりの単価を現在の価格で示してみました。

木材市況 及び m³・本当たり単価換算表

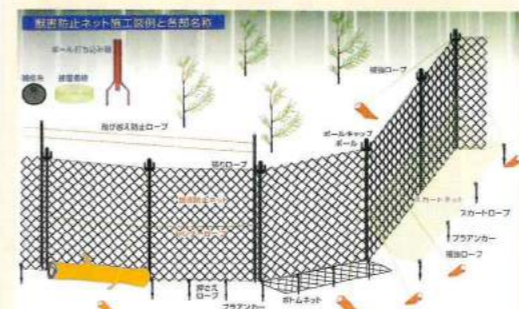
樹種	内 訳			直 材		小 曲 り		大 曲 り		前月から
	長さm	末口cm	単材m	m当	1本当	m当	1本当	m当	1本当	
杉	6	16	0.173		2,422		1,990		1,073	→
		18	0.217	14,000	3,038	11,500	2,496	6,200	1,345	
		20	0.265		3,710		2,915		1,643	→
		22	0.317	14,000	4,438	11,000	3,487	6,200	1,965	
桧	6	16	0.173	25,000	4,325	22,000	3,806	7,000	1,211	→
		18	0.217		5,425		4,774		1,519	
		20	0.265		6,890		6,095		2,385	→
		22	0.317	26,000	8,242	23,000	7,291	9,000	2,853	
杉、桧	3	9下	0.019	5,789	110	5,263	100			→
	2	9下	0.013	3,846	50	3,462	45			→
杉	4	9下	0.026	9,615	250	6,923	180			→
		10~13	0.054	10,185	550	9,259	500			→
		14	0.078	11,800	920		624	6,500	507	↑
		16	0.102		1,204	8,000	816		663	
		18	0.130		1,690		1,365		845	
		20	0.160	13,000	2,080	10,500	1,680	6,500	1,040	↑
		22	0.194		2,522		2,037		1,261	
		24	0.230		2,875		2,300		1,610	
		26	0.270	12,500	3,375	10,000	2,700	7,000	1,890	→
		28	0.314		3,925		3,140		2,198	
	30上	0.360	10,500	3,780	9,000	3,240	7,000	2,520	→	
	3	10~13	0.040	7,750	310	7,000	280			→
		14	0.059		566	7,800	460	4,500	266	→
		16	0.077	9,600	739		601		347	
		18	0.097		1,086		892		631	
		20	0.120	11,200	1,344	9,200	1,104	6,500	780	→
		22	0.145		1,624		1,334		943	
	2	18	0.065		293		234			→
		20	0.080	4,500	360	3,600	288			
		22	0.097		437		349			
24上		0.115	5,200	598	4,000	460			→	
桧	4	9下	0.026	9,615	250	6,923	180			↑
		10~11	0.044	10,227	450	8,636	380		464	↑
		12	0.058		986	13,500	783	8,000	544	↓
		13	0.068	17,000	1,156		918		842	
		14	0.078		1,794	21,500	1,677	10,800	1,102	↓
		16	0.102	23,000	2,346		2,193		1,102	
		18	0.130		3,055		2,652		1,625	
		20	0.160	23,500	3,760	20,400	3,264	12,500	2,000	↓
	22	0.194		4,559		3,958		2,425		
	24	0.230		4,600		3,910		2,875		
	26	0.270	20,000	5,400	17,000	4,590	12,500	3,375	↓	
	28	0.314		6,280		5,338		3,925		
	30上	0.360	19,000	6,840	17,000	6,120	0	0	↓	
	3	10~13	0.039	8,462	330	7,179	280			→
14		0.059		944	13,000	767	7,000	413	↓	
16		0.077	16,000	1,232		1,001		539		
18		0.097		1,649		1,455		776		
20		0.120	17,000	2,040	15,000	1,800	8,000	960	↓	
22		0.145		2,465		2,175		1,160		
2	18	0.065		637		520			→	
	20	0.080	9,800	784	8,000	640				
	22	0.097		951		776				
	24上	0.115	10,000	1,150	9,500	1,093	3,600	414	→	

鹿の害を防ごう

シカネット資材 50m当り(税抜)

部材名	部材数	単価	価格
オレンジネット	1枚	27,000	27,000
押えロープ	2巻	1,500	3,000
補修糸	1巻	4,300	4,300
防護柵パイプ	15本	1,000	15,000
押え木杭	28本	110	3,080
50m当り価格			52,380

※国・県・市によるシカ対策補助事業の適用がありますので、詳しくは森林組合までお尋ね下さい。



《平成20年度苗木、種駒価格表》

(税抜)

品 目	規 格	予定価格
苗	ミスギ 2-1号	80円
	ミスギ 2-2号	78円
木	ヒノキ 2-1号	86円
	ヒノキ 2-2号	79円
種	クヌギ 1-1号	80円
	クヌギ 1-2号	69円
駒	クロマツ 2-2号	68円
	春駒	1,000ヶ 2,800円
	春秋駒	1,000ヶ 2,800円
	平茸(駒)	1,000ヶ 2,800円
	平茸(菌)	900cc 900円
	ナメコ(駒)	1,000ヶ 2,800円
ナメコ(菌)	900cc 900円	

※苗木の申込は25本単位でお願いします。

お知らせ

今年も造林用苗木及び種駒の予約申込み受付を始めました。地区推進員さんに申込書を配布していますので、申込書に記入するか、最寄りの森林組合(本所、支所)まで申込みをお願いします。

シイタケ栽培に 関することわざ

- 一、原木は木肌で選べ
- 一、雨の日と雨の後は伐るな
- 一、木口は幹に直角に切れ
- 一、接種は、梅で始まり桜で終われ
- 一、伏せ込みは通風のよい六乾四湿のところ
- 一、ほだ場の通風は、煙りが静かにゆらゆら立ちのぼる程度
- 一、ほだ木はあたるほどナバの出が良い (天地返し等)
- 一、ほだ木の良さは、「見て」「さわって」「持って」みよ

※竹、笹類を秋から冬場にかけて散布する長期薬剤も準備しています。



支所活動

築城支所

☎09630(54)0001
支所長 山口雅博

現

在、森林所有者の皆様にとつて所有林の維持管理が厳しく難しい時代です。築城支所の主な事業、活動を紹介いたします。

○間伐施業集約化・供給情報集積事業

行政よりの補助施策をより活用し、健全な山林を維持すると共に間伐材の販売、山林所有者に収益の還元できるよう、低コスト化への路網整備、集約化施行に取り組んでいます。

○森林整備地域活動支援対策事業

45年以下の人工林で森林施行をされる場合、境界の明確化作業、隣接地の境界立会費用、作業路の草刈、作業路の修理の費用などに支援されます。

○荒廃森林再生事業

平成20年度より福岡県の新たな施策として、森林環境税を導入し、長期間手入れがされず放置され公益的機能が低下した森林を再生する施業を町の事業主体で実施する。

荒廃森林の調査、間伐等の施業調査、測量、施業の実施

○中山間地域活性化推進事業

築上町の中山間地域活性化推進協議会(上城井自治区)により、いろんな催しをしています。森林組合としては、しいたけの駒打ち体験の催しをしています。

地元、上城井小学校付近の山でしいたけの原木切り、駒打ち、伏せ込みなどを近隣の小学生、父兄など応募をしております。

町内でイベントがあるときは、生しいたけ、駒打ちした原木など販売をしています。

尚、当築城支所管内で山林に関するご要望、ご相談がありましたらお気軽にご連絡をお願いいたします。

椎田支所

☎0930(56)0433
支所長 神松謙二

今

年度から取組んでいる集約施業は従来の施業地が分散していた施業方法を改め、5〜20haのまとまりのある区域を施業すること、間伐材の搬出コストを減らし森林所有者に、原木収益を還元できる施業方法です。

地元説明会での質問に「40〜50年生の林分に間伐が必要か」、「昔なら40年生の杉松は全伐する時期ではないか」などの、高い林令での間伐の必要性を問われます。

長引く木材不況や適期施業の遅れにより、全伐の時期を延ばさざるを得ない時代です。

人工林内に線香状態の被圧木が多い林分は立木本数が多く、間伐することで、残った一本一本の木が光を受ける面積を広げることによって幹が太くなり、風雪害に強い健全な林分になります。又間伐後は地面に降りそそぐ光が増えて下草が繁り、樹木の成長に欠かせない養分の多い表面土壌の流出を防ぎます。

植付け、下刈、除伐、枝打、間伐などの長い年月を経てここまで成長した林分を手入れすると同時に収入を得てみませんか。(林分状況により収入額は異なります。)

自家労力により除伐、枝打・間伐(伐り捨て)を今年度を実施予定の方は早めに支所にお届け下さい。来年度の施業予定も受付いたします。

上毛支所

☎09979(72)2478
支所長 峰 敏行

上

毛支所管内では、木材の搬出コストの削減を目指す為、搬出間伐の推進を重点課題とし、集約施行団地内の間伐事業推進し現在、内ノ倉団地、岩屋団地におきましては、地区座談会を実施し搬出間伐作業の実施中、また有野団地(作業道3m有)、大入団地(作業道3m 林道、広域林道有)は、今後地区座談会を実施し搬出間伐を進めていきますので、組合員(森林所有者)の皆様方のご協力をお願い致します。

尚、通常の造林事業(保育間伐、除伐、枝打)においては随時受付を行います。

個人で行っても補助金が有りますので、作業終了後、当支所までお問い合わせ下さい。

